

第1号議案

令和5年度事業報告書

1. 会員

令和5年度末会員数

項 目	令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在	退会	入会
正会員 (A) 会員	108	106	2	0
正会員 (B) 会員	71	70	1	0
正会員 (C) 会員	4	4	0	0
合 計	183	180	3	0

退会した会員

A 会員 環境計測㈱ 新日本ナムラスケール㈱
B 会員 ㈱ナカモン

2. 役員・顧問及び事務局

(1) 令和5年度末における役員は次のとおりである。

会 長	小 川 弘	㈱三光精衡所 会長
副会長	横 山 守 二	㈱東亜計器製作所 社長
〃	蓮 井 康 二	㈱ニシベ計器製造所 社長
専務理事	堀 井 茂	一般社団法人 東京都計量協会
理 事	石 井 康 二	一般社団法人 計量器コンサルタント協会 会長
〃	伊 藤 信 男	一般社団法人 東京都計量協会 事務局長
〃	井 上 幸 輝	㈱タニタ 取締役
〃	井 原 俊 英	長野計器㈱ 技術顧問
〃	大 森 規 雄	共栄衡器㈱ 社長
〃	木戸口 充	東京都計量証明事業協会 会長
〃	小 林 悌 二	東京計量士会 会長
〃	小 林 弘	㈱タツノ 東京支店次長
〃	近 藤 正 孝	㈱三友産業社 社長
〃	坂 本 慎 介	新光電子㈱ 社長
〃	浜 田 鉄 平	㈱協立商会 社長
〃	三田村 義 崇	日本計量器工業㈱ 社長
〃	森 島 泰 信	㈱エー・アンド・ディ 社長
〃	八 木 佑 幸	新日本度量衡㈱ 代表取締役
〃	山 本 信太郎	山本計器製造㈱ 会長

〃	山 本 浩 之	計量管理研究部会 部会長
〃	横 田 賢 亮	(株)横田計器製作所 社長
〃	渡 部 洋 士	(株)渡部計器製作所 社長
〃	和 田 俊 之	(株)寺岡精工 知的財産規格部課長
監 事	大 原 誠	(株)大原計機製作所 社長
〃	清 宮 正 博	日本ダイナマット(株) 専務取締役
〃	山 口 精 一	(株)ワーク衡業 社長
顧 問	清 宮 貞 雄	日本ダイナマット(株) 社長

一般社団法人 東京都計量協会 前会長

(2) 事務局（常勤役員、契約職員を含め 40 名）

専務理事 堀井 茂
 理事・事務局長 伊藤 信男
 総務部 3 名
 計量管理事業部 9 名
 指定定期検査機関部 13 名
 タクシーメーター検査場（港南・深川）13 名

3. 会議

(1) 令和 5 年度定時総会（令和 5 年 6 月 2 日（金）於 ホテルグランドヒル市ヶ谷）

- 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告書承認の件
- 第 2 号議案 令和 4 年度決算報告書承認の件
- 第 3 号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
- 第 4 号議案 顧問の選任について
- 報告事項 1. 令和 5 年度事業計画書について
- 報告事項 2. 令和 5 年度収支予算書について

(2) 理事会

第 1 回理事会（令和 5 年 5 月 19 日（金）於 計機健保会館）

- 1. 令和 4 年度事業報告書（案）について
- 2. 令和 4 年度決算報告書（案）について
- 3. 任期満了に伴う理事及び監事候補者について
- 4. 顧問の選任について

第 2 回理事会（令和 5 年 6 月 2 日（金）於 ホテルグランドヒル市ヶ谷）

- 1. 会長、副会長、専務理事の選任について

第3回理事会（令和5年10月13日（金）於 メルキュールホテル横須賀）

1. 計量記念日に関する事業の実施について
2. 出前計量教室令和5年度実施状況について
3. 世界の三大記念艦「三笠」の見学及び会員交流会の開催について
4. 令和6年「新年賀詞交歓会」の開催について
5. 関東甲信越計量団体連絡協議会「長野大会」開催について

第4回理事会（令和6年1月12日（金）於 ホテルグランドヒル市ヶ谷）

1. 令和5年度「関ブロ長野大会」開催結果について
2. 令和5年度「都民計量のひろば」開催結果について
3. 令和5年度「計量記念日のつどい」開催結果について
4. 令和5年度事業の進捗状況及び決算の見通しについて
5. 令和6年度定時総会・理事会等の開催スケジュールについて

第5回理事会（令和6年3月15日（金）於 計機健保会館）

1. 令和6年度事業計画書（案）審議承認の件
2. 令和6年度収支予算書（案）審議承認の件
3. 令和6年度定時総会、第1回理事会、運営委員会等の開催について

(3) 監事会（令和5年5月8日（月）15時30分～17時
令和4年度事業及び決算について監査

(4) 運営委員会

第1回運営委員会（令和5年5月9日（火）於 計機健保会館）

1. 令和4年度事業報告書について
2. 令和4年度決算報告書について
3. 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
4. 顧問の推薦について

第2回運営委員会（令和5年9月12日（火）於 計機健保会館）

1. 計量記念日に関する事業の実施について
2. 出前計量教室の令和5年度実施状況について
3. 海上自衛隊横須賀基地の見学及び会員交流会の開催について
4. 関東甲信越計量団体連絡協議会「長野大会」の開催について

第3回運営委員会（令和6年2月13日（火）於 東京都計量検定所）

1. 令和6年度事業計画書（案）について
2. 令和6年度収支予算書（案）について

3. 令和6年度定時総会、理事会等の開催について

(5) 正副会長及び常勤役員会議

- 第1回（令和5年6月13日（木）於 ダイヤモンドホテル）
- 第2回（令和5年7月21日（金）於 計機健保会館）
- 第3回（令和5年9月12日（火）於 計機健保会館）
- 第4回（令和5年12月5日（火）於 計機健保会館）
- 第5回（令和6年1月11日（木）於 半蔵門会館）
- 第6回（令和6年1月17日（水）於 明治記念館）
- 第7回（令和6年3月15日（金）於 ダイヤモンドホテル）

(6) 計量記念日のつどい

- 日 時 令和5年11月8日（水）15時～18時
- 場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 次 第 会長式辞
感謝状・表彰状贈呈
計量管理強調月間「標語」優秀作品賞の表彰
来賓の紹介・祝辞
受賞者代表謝辞
祝賀パーティ

(7) 新年賀詞交歓会

- 日 時 令和6年1月12日（金）17時～19時
- 場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 次 第 会長年頭のあいさつ
来賓祝辞
乾杯
懇談

(8) 計量管理研究部会

- 部会総会（令和5年5月22日（月）於 東京都計量検定所）
 - 1. 令和4年度事業報告書（案）の審議承認について
 - 2. 令和4年度決算報告書（案）の審議承認について
 - 3. 令和5年度事業計画書（案）の審議承認について
 - 4. 令和5年度収支予算書（案）の審議承認について
 - 5. 理事及び監事の選任（補充）について

監査会（令和5年4月17日（月）於 東京都計量検定所）

運営会議

第1回運営会議（令和5年4月20日（木）於 東京都計量検定所）

1. 令和5年度部会等開催スケジュール
2. 令和5年度部会総会での審議事項について
3. 懇親会の開催について
4. 理事・監事の補充について
5. 主任者養成講習会の開催について（生産者向け）
6. 東京都計量検定所からのお知らせ

第2回運営会議（令和5年6月23日（金）於 計機健保会館）

1. 主任者養成講習会参加申し込み状況について
2. 講習会開催に向けた準備状況の確認について
3. 計量管理強調月間「標語募集」について
4. 都計協会長表彰候補者の推薦について
5. 会則と会員資格について
6. 東京都計量検定所からのお知らせ

第3回運営会議（令和5年9月1日（金）於 東京都計量検定所）

1. 主任者養成講習会の開催結果について
2. 計量記念日「都民計量のひろば」開催について
3. 計量管理強調月間（標語）の審査・選考について
4. 「計量記念日のつどい」での前部会長感謝状推薦について
5. 東京都計量検定所からのお知らせ

第4回運営会議（令和5年12月1日（金）於 東京都計量検定所）

1. 主任者養成講習会の開催について（流通関係）
2. 計量記念日「都民計量のひろば2023」開催結果について
3. 東京都計量検定所との情報交換会の開催について
4. 東京都計量検定所からのお知らせ
5. その他（関ブロ主催の計量講習会の開催について）

第5回運営会議（令和6年3月1日（金）於 東京都計量検定所）

1. 令和5年度事業活動報告（概要）について
2. 令和6年度事業計画（骨子）について
3. 適正計量管理主任者養成講習会の開催について（流通・生産）
4. 東京都計量検定所との情報交換会の開催について
5. 副部会長の選任について
6. 東京都計量検定所からのお知らせ

東京都計量検定所との情報交換会の開催

日 時 令和6年3月1日（金）
場 所 東京都計量検定所

- テーマ
- ・適正管理事業所について
 - ・計量制度の見直しについて
 - ・最近の計量行政について

(9) タクシーメーター部会

正副部会長によるタクシーメーター検査に係る打ち合わせ

(令和5年8月1日 於 東京都計量検定所)

(10) ジュニア計量学校事業打ち合わせ

第1回打ち合わせ会議(令和5年7月14日(金) 於 東京都計量協会)

(1) ホームページ掲載に係る打ち合わせ

第2回打ち合わせ会議(令和5年8月25日(金) 於 東京都計量検定所)

(1) ホームページ掲載に係るデザイン(案)等について

第3回打ち合わせ会議(令和5年9月25日(月) 於 東京都計量検定所)

(1) ホームページ掲載に係るデザイン(案)等について

第4回打ち合わせ会議(令和5年12月12日(火) 於 東京都計量検定所)

(1) 原稿の加筆修正等について

(2) ホームページ掲載に係るデザイン(案)等について

第5回打ち合わせ会議(令和5年12月15日(金) 於 お茶の水女子大学)

(1) 掲載原稿の確認について

(2) ホームページ掲載に係るデザイン(案)等について

第6回打ち合わせ会議(令和6年3月13日(水) 於 東京都計量協会)

(1) ホームページ掲載に係るデザイン(案)等について

(11) 出前計量教室意見交換会(令和6年3月27日(水) 於 東京都計量検定所)

1. 令和5年度出前計量教室の実施状況

2. 意見交換

(1) 令和5年度を振り返って

(2) 令和6年度の実施に向けて

(12) 指定定期検査機関等連絡会議

第1回連絡会議(令和5年9月27日(水) 於 東京都計量検定所)

1. 開会挨拶

2. 議事

(1) 円滑な検査の実施に向けた情報の交換

(2) 適正な検査の遂行に向けた課題の整理と対応

(3) その他検査の実施について、必要な事項

3. 質疑応答

第2回連絡会議（令和6年3月22日（金） 於 東京都計量検定所）

1. 開会挨拶
2. 議事
 - （1）適正な検査の遂行に向けた課題の整理と対応
 - （2）円滑な検査の実施に向けた情報の交換
 - （3）その他検査の実施について、必要な事項
3. 質疑応答

（13）関東甲信越計量団体連絡協議会関係

○ 長野大会の開催

開催日時 令和5年10月26日（木）～27日（金）

場 所 ホテルメトロポリタン長野

協 議 会（13時30分～15時50分）

1. 会務・会計報告及び監査報告
2. 提案議題審議
 - （1）提案議題の検討
 - （2）提案議題審議に係る講評
 - （3）運営委員会中間報告
 - （4）次回開催県挨拶

感謝状及び記念品贈呈式（16時～16時15分）

記念講演会（16時30分～17時30分）

演題 葛飾北斎の生涯 ～信州小布施の名品～

講師 葛飾北斎専門美術館「北斎館」学芸員 櫻井 貴基氏

懇親会（18時～20時）

研修見学会の開催（27日）

○ 代表者会議の開催

第1回代表者会議（令和5年4月24日（月） 於 計機健保会館）

1. 令和4年度事務担当者会議の開催結果について
2. 長野大会の開催計画について
3. さいたま大会での指摘事項への対応／WGの設置について
4. 令和4年度事業・決算報告承認について
5. 令和5年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認について
6. 令和5年度会長、副会長、監事の選任について

第2回代表者会議（令和5年7月13日（木） 於 計機健保会館）

1. 長野大会の開催準備状況について
2. さいたま大会での指摘事項への対応について
3. 会則の一部改定について

第3回代表者会議（令和5年9月7日（木） 於 計機健保会館）

1. 長野大会の開催に向けた準備について
2. 感謝状受賞候補者の承認について
3. 運営委員会の審議経過について
4. 事務担当者会議の開催について
5. 会則の一部改定について
6. その他
 - ・大会名、略称の統一化について

第4回代表者会議（令和5年12月7日（木） 於 東京都計量検定所）

1. 長野大会の開催結果及び収支報告について
2. 千葉大会の開催方針（概要）について
3. 令和5・6年度スケジュールについて
4. 運営委員会での審議状況について
5. 事務担当者会議の開催について
6. 大会名の略称について
7. 指定検定機関との意見交換について
8. その他
 - ・経産省が開催する「自動捕捉式はかりの使用制限開始（検定の実施）説明会の開催」について

第5回代表者会議（令和6年2月8日（木） 於 計機健保会館）

1. 長野大会の収支決算報告書について
2. 千葉大会の開催概要及び今後のスケジュールについて
3. 運営委員会での審議状況及び計量器規制等に係る講習会の開催について
4. 大会名の略称について
5. その他
 - ・事務担当者会議の開催について

○ 運営委員会の開催

第1回運営委員会（令和5年7月13日（木） 於 計機健保会館）

1. 計量士登録簿の閲覧
2. 研修会等の共同開催、都県の垣根を超えた協力体制
3. データベースの構築
4. 計量協会入会パンフレットの共同作成
5. 計量士育成のための支援制度

第2回運営委員会（令和5年8月24日（木） オンライン）

1. 都県の垣根を越えて共同で実施できる事業の展開
2. 計量士データベースの構築
3. 計量士を目指す若者を増やすための事業

第3回運営委員会（令和5年9月7日（木）於 計機健保会館）

1. 代表者会議への審議状況報告内容について

第4回運営委員会（令和5年10月3日（火）オンライン）

1. 計量大会での中間報告内容について
2. 広域的講習会のテスト開催について
3. その他

- ・運営委員の任期について
- ・報告書の取りまとめについて

第5回運営委員会（令和5年12月4日（月）オンライン）

1. 講習会の開催について

第6回運営委員会（令和6年2月8日（木）於 計機健保会館）

1. 2月16日の講習会の運営と役割分担について
2. 運営委員会の報告書について

○ 講習会の開催（令和6年2月16日（金）於 日本計量会館）

テーマ・講師

- ①「新しいキログラムの定義とキログラム原器の重要文化財指定」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所計量標準総合センター 倉本 直樹氏

- ②「計量器規制の概要及び自動はかりの規制の現状」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所計量標準総合センター

法定計量管理室 神長 亘氏

大谷 怜志氏

聴講者数 92名（対面40名、オンライン52名）

○ 事務担当者会議の開催（令和6年3月5日（火）～6日（水）

於 古名屋ホテル（山梨県甲府市）

事務局長会議・事務担当者会議の枠組みと関ブロとの係りについて

- ・協会所属計量士（職員）の待遇について
- ・定期昇給及びベースアップへの対応について
- ・協会所有の車がある場合の取り扱いルールについて

事務担当者会議・インボイス制度施行後の会計処理方法

- ・法人公告について～事務所掲示から電子公告への切替手続き～

4. 普及・啓発事業

4-1. 計量に関する知識の普及、啓発事業

計量思想の普及・啓発、及び計量法の周知等を目的に次の資料を作成、又は入手して有効的に配布した。

① 計量記念日ポスター800枚

② 計量管理強調月間標語・優秀作品2点を短冊にして各300部を作成

③ 広報誌「とうきょうの計量」発行

会員への協会活動報告を目的に年6回、(株)計量計測データベースの協力を得て、「日本計量新報」の紙面に専用広報ページ「とうきょうの計量」を設け、理事会、部会等の活動報告、法定計量に係る情報提供、行政からのお知らせ等を編集・掲載し、全会員に配布している。

編集は、東京都計量検定所等の協力を得て委員会を設け行っている。

なお、同紙面内容は協会のホームページでも閲覧可能としている。

発行日 No.290号 令和5年5月14日

No.291号 令和5年6月25日

No.292号 令和5年8月27日

No.293号 令和5年11月26日

No.294号 令和6年1月28日

No.295号 令和6年3月24日

編集委員 石井 康二 井原 俊英 横山 守二

堀井 茂 伊藤 信男

4-2. 出前計量教室

小学校における計量関係の学習を支援するため、東京都計量検定所のリーダーシップのもと、出前計量教室を実施している。

本事業は、東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東京計量士会、(一社)計量器コンサルタント協会、日本硝子計量器工業協同組合が実施に関する協定を結び、次の役割分担に基づき運営している。

- ・東京都計量検定所：総合調整、小学校への周知・申込受付、教材等の調達・運搬、講師の派遣
- ・(一社)東京都計量協会：講師派遣に係る経費負担
- ・東京計量士会・(一社)計量器コンサルタント協会：講師の派遣
- ・日本硝子計量器工業協同組合：教材の調達・運搬、講師の派遣

令和5年度では4校272名の生徒を対象に実施した。また夏休み計量教室の開催に係り荒川区、江戸川区から申し込みがあり、2ヶ所18名の児童(保護者同伴)を対象に開催した。

(1) 出前計量教室実施状況

実施校数	4校
児童数	272名

(2) 夏休み計量教室実施状況

実施場所	2ヶ所
参加人数（保護者含む）	18名

(3) 内容

	内容	実施校数	実施会場	児童数
出前計量教室	① 棒はかり工作	2校	2会場	113名
	② いろいろな温度をはかろう	2校	2会場	159名
夏休み計量教室	棒はかり工作		荒川区 江戸川区	18名 (保護者含む)

(4) 実施詳細

日時	学校名	クラス	児童		内容
			学年	数	
7月14日 13:25～15:00	板橋区 板橋第6小	2	4	54	いろいろな温度をはかろう
11月24日 13:30～15:05	新宿区 四谷小	4クラス 合同	4	105	いろいろな温度をはかろう
11月28日 13:40～15:15	文京区 明化小	2	6	47	棒はかり工作
1月25日 10:45～12:20	港区 東町小	2	6	66	棒はかり工作
7月23日 13:30～15:30	夏休み計量教室 荒川区		4～6	6	棒はかり工作
7月28日 14:00～16:00	夏休み計量教室 江戸川区		4～6	12	棒はかり工作

4-3. ジュニア計量学校

子供たちは計量を知識として知っていても日常生活の中で実感し考える機会が少なくなっていることや、出前計量教室の実施校から、計量に関する授業の指導補助になるような教材の提供を要望する声が出ていた。このため子供たちが授業の中で計量に係る体験を通し、生活や学習に活用しようとする態度を養うことのできる学習プログラムを提案し、教員に授業で活用してもらうことを目的に行う事業である。

事業は、東京都計量検定所、お茶の水女子大学附属小学校及び（一社）東京都計量協会との三者連携事業とし、それぞれの役割分担の下に実施に向けた準備を進めている。当協会は、学習用はかりの提供、教員からの相談対応、本事業に係るホームページの作成、PR等を担当する。

今年度は、授業内容、はかりの貸出、相談受付体制等の確立、はかりの使い方や豆知識等の付属資料の作成、学校へ提供する資料の取りまとめを行っている。

現在、東京都計量検定所、お茶の水女子大学附属小学校とホームページ立ち上げのための最終原稿の見直し、ホームページデザイン（案）を検討しており、当初予定より遅れたが間もなく参加校の募集に入る予定である。

対象 都内公立小学校 3 年生指導教員

名称 「ジュニア計量学校」第 3 学年重さについて調べよう 通学かばんの重さ調べ

協力 お茶の水女子大学附属小学校

東京都計量検定所

一般社団法人 東京都計量協会

内容 小学校学習指導要領算数編に従い、第 3 学年の「重さ」の単元について指導計画、及びその 1 コマに「はかりを使用した授業」を展開する。

ホームページの構成

- ・はじめに
- ・授業の概要
- ・算数と理科との関連
- ・通学かばんの重さ調べ
- ・貸出教材
- ・参考資料
- ・問合せ先

4－4．計量記念日に関する事業の実施

4－4－1．都民計量のひろばの開催

都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的に、11 月 1 日の計量記念日に東京都計量検定所及び東京都計量協会をはじめとする関係団体の共催で「都民計量のひろば」を開催してきている。

令和 2 年度～4 年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から Web での開催となったが、令和 5 年度は 5 類への移行に伴い 4 年ぶりに JR 新宿駅西口ひろばで開催し、都民へ計量制度の啓蒙と正しく量ることの重要性を訴えた。

(1) 事業の概要

事業名 都民計量のひろば 2023

趣 旨

計量制度は私たちの社会生活や経済活動において、貨幣制度とともに欠くことのできない基本的な制度であり、この制度の適切な運用は都民生活を守り、わが国の経済や文化の向上を実現するために極めて重要である。

国際化や技術革新への対応、消費者利益の確保という視点から全面改正された計量法は、平成 5 年 11 月 1 日の施行後、順調に定着化しているものの、計量制度そのものは十分に認識されているとは言えない状況にある。そこで実行委員会では都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的に「都民計量のひろば 2023」を開催した。

メインテーマ 「くらしと計量」

サブテーマ 「くらしと計量～計量の世界を楽しく探検しよう！」

日 時 令和5年11月1日(水) 10時30分から16時まで
会 場 JR 新宿駅西口広場イベントコーナー
主 催 都民計量のひろば実行委員会

< 8機関・団体 >

株式会社インダ、一般社団法人計量器コンサルタント協会、株式会社タニタ、株式会社寺岡精工、一般社団法人東京科学機器協会、東京都環境計量協議会、一般社団法人東京都計量協会、東京計量士会、東京都計量証明事業協会、東京都水道局、東京都計量検定所、一般社団法人日本海事検定協会、日本ガスメーター工業会関東支部、日本硝子計量器工業協同組合、一般社団法人日本計量振興協会、一般財団法人日本穀物検定協会関東支部、日本電気計器検定所、株式会社松屋

(2) 催しの内容

「くらしと計量」をメインテーマに次の常設コーナーを設け普及啓蒙に努めた。

ア 健康と計量コーナー

血圧及び血管年齢測定、体重及び体組成測定、骨強度測定の実施

健康用計量器に係わるパネル展示

計量クイズ実施、回答者に粗品 (BMI メジャー) の進呈

イ 水道と計量コーナー

水道メーター展示、事業紹介パネル展示、チラシ・グッズ配布、各種相談

ウ ガスと計量コーナー

都市ガス・LP ガス用メーターの展示、計量ロジック、復帰方法に関するパネル・実機展示、各種相談

エ 電気と計量コーナー

くらしと計量電気：電力量計の検定に関するパネル展示、JEMIC の PR 動画、実機の展示、各種相談

オ 環境と計量コーナー

公害及び地球温暖化防止、地中熱利用、海洋プラスチックごみ問題などの環境に関するパネル展示

カ 食品と計量コーナー

・ 調味料や飲料等身近な食品を用いて糖分、塩分を測定し解説

・ 食品工場の自動はかりをビデオで紹介。

・ 浮ひょうや温度計などのガラス製計量器の使用方法を説明

基準温度計、酒精度計、自記温湿度計、自記気圧計を展示

キ 計量相談コーナー

計量制度等に関する相談

ク 計量体験コーナー 1

計量制度についてパネルや計量器を用いて説明し、クイズを実施

クイズ回答者に粗品（ミニタオル、定規）を進呈。例年行っている計量感覚ゲーム「100 グラムに挑戦」は自由参加。

ケ 計量体験コーナー 2

寒暖計・棒はかり工作体験の実施（各 1 回）

(3) ステージアトラクション

ア 計量アトラクション 1

計量士に関するパネル展示、計量マジック

イ 計量アトラクション 2

箏及びマリンバの生演奏。

(4) クイズラリー&アンケートの実施

ア アンケート：来場者全員に総合案内にてエコバッグ等来場記念品、アンケート用紙を配布し回収。（配布数約 350、アンケート回収数 264）

イ クイズラリー：10 か所でクイズを出題。クイズ全問回答者には参加賞（賞品及びクイズラリー解説冊子）、さらにクイズ全問正解者には特別賞（賞品）を配布。

(5) 広報・周知

都民に広く記念日事業を周知するため、広報用チラシを作成するとともに、次のような媒体を活用して周知を図った。

- ・広報チラシ約 1700 部、ポスター約 200 部を作成し関係機関に送付
- ・プレス発表（9 月 25 日）、HP 掲載（9 月 14 日掲載）
- ・広報誌等 広報東京都 10 月号、広報東京都こども版 10 月号
消費者行政情報 10 月号、東京くらしねっと 9・10 月号
- ・SNS X（旧 Twitter）、Facebook、Line、Instagram による告知
- ・テレビ・ラジオ 東京都広報番組（MX テレビ、TBS ラジオ）で告知
- ・デジタルサイネージ

新宿駅西口地下の開催会場（西口広場）から都庁舎までの通路数か所でデジタルサイネージを当日まで周知

- ・PR TIMES への掲載：メディア関係者向けにプレスリリースを配信
- ・HP リンク用バナーの作成と掲載：都庁 HP、東京くらし WEB 等掲載、実行委員配布、SNS 掲載

(6) 委員からのアンケート（担当ブースでの来場者の反応等）

- ・健康コーナーでは、血圧、血管年齢測定で 217 人、骨健康度測定で 187 人の体験者があった。
- ・お年寄りが多く無料なので気軽に参加されていた。混んでいる時はキャンセルする方も見受けられた。
- ・椅子が足りず、次回は各ブースとも増やして欲しい。
- ・参加者は検査結果に一喜一憂されており、健康に高い関心をお持ちと感じた。
- ・WEB 公開は浸透が難しく、長く続けないとアクセス件数は増えない。

(7) 会場、日程について

- ・会場は人通りも多く、広さもちょうど良い。
- ・開催日は計量記念日を認識頂く意味で固定が良い。
- ・リピーターも多く、会場も日程も浸透しているのでこれまで通りで良い。
- ・過去、週末や休日に開催したこともあるが、来場客はかなり多かったと記憶している。休日開催も検討してはどうか。
- ・毎年、健康チェックに来られている方もいる。これ以上、来場者が増えても対応が難しく、今の規模が適当と思われる。
- ・会場について同程度の規模、予算で候補があれば検討しても良い。来場者の中には計量記念日を知らない方も多い。さらなる啓蒙活動が必要と感じる。
- ・Z世代等、若者の来場度が低いので対応が必要ではないか。
- ・隣県と開催が重ならないようにする、休日の開催等集客効果を考える必要がある。

(8) 当日の運営について

- ・担当の頑張りもあり、運営はスムーズと感じた。
- ・通行人への広報チラシがもっとあるとよい。
- ・平日とあって通りすがりの来場者が大半と考える。そうした中、混乱もなくできたことは素晴らしい。またブース準備から後片付けまで不便を感じることなくスムーズであった。
- ・景品について今年は用意できたが来年度は不明。早めに連絡いただければ予算申請など動きやすい。
- ・ゴミは持ち帰りとしているが担当者は電車の利用が多く、主催者で処理願いたい。

(9) 収支報告

収入の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A-B)
(一社) 東京都計量協会分担金	500,000	500,000	0
東京都計量検定所分担金	500,000	500,000	0
前年度繰越金	227,593	227,593	0
雑収入 (銀行利息)	0	1	▲1
合計	1,227,593	1,227,594	▲1

支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A-B)
会議費 (設営費)	740,000	798,600	▲58,600
会場費 (使用料)	106,000	105,600	400
運営費	110,000	109,000	1,000
測定器借上げ費	88,000	88,000	0
通信運搬費	32,000	30,932	1,068
消耗品費 (景品・封筒)	35,000	34,100	900
会議費等	10,000	9,090	910
雑費	3,000	0	3,000
予備費 (繰越金)	103,593	52,272	51,321
合計	1,227,593	1,227,594	▲1

* 差引残高52,272円については、令和6年度に繰り越す。

4-4-2. 計量記念日のつどいの実施

本会では例年、計量強調月間中に計量記念日のつどいを開催し、本会の事業を推進するにあたり功績のあった会員代表者、あるいは会員企業に長年勤務し企業の発展、業界の振興に貢献した方に対し顕彰を行っている。

令和5年度では、計量管理研究部会部会長を、平成27年5月から令和4年5月まで務められ、研究会の組織強化、出前計量教室の開催をはじめとする事業の拡大に尽力いただいた小林悌二様に感謝状を贈呈するとともに、団体活動、勤務先において大きな業績を挙げられた次の方々を顕彰した。

なお、式典には、経済産業省産業技術環境局長表彰、東京都功労者表彰、同生活文化スポーツ局長感謝状受賞者も出席し、表彰式終了後の記念撮影、祝賀懇親パーティにも入っていた。

日 時 令和5年11月8日（水）15時～18時

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）

次 第 開式

式辞 小川 弘 （一社）東京都計量協会 会長

来賓祝辞 戸澤 互様 東京都計量検定所 所長

金井 一榮様 （一社）日本計量振興協会 副会長

感謝状及び会長表彰の贈呈

計量管理強調月間「標語」優秀作品賞の表彰

受賞者謝辞 高柳 庸一郎様 メトラー・トレド㈱

閉式

受賞者（ ）内は推薦団体

感謝状 小林 悌二様 当協会理事・前計量管理研究部会部会長
東京計量士会会長

会長賞 北沢 保雄様 ㈱ワーク衡業（計量器コンサルタント協会）

菅原 健一様 秋山衡材㈱（計量器コンサルタント協会）

田中 伸和様 （一財）新日本検定協会（東京計量士会）

西尾 和昭様 共栄衡器㈱（計量器コンサルタント協会）

横田 みどり様 ㈱横田計器製作所（日本硝子計量器工業協同組合）

計量管理強調月間「標語」作品賞

最優秀賞 丸山 崇様 森永乳業㈱

〃 西薊 亘祐様 日東富士製粉㈱

佳作賞 小野寺 恵子様 森永乳業㈱

〃 西岡 英美子様 森永乳業㈱

5. 講習会、研修会、見学会等の開催

令和5年度は次のとおり講習会及び見学会を開催した。

(1) 適正計量管理主任者養成講習会の開催（生産関係）

日 時 令和5年7月7日（金）9時30分～16時50分
場 所 東京都計量検定所
受講者数 9事業所30名
講義内容 ①計量法と適正計量管理事業所制度
②筆記試験
③製造業における計量管理
④質量計（非自動はかり）の使用検査について
⑤質量計（自動はかり）の使用検査について
⑥筆記試験の解説及び講評、認定書授与

(2) 見学会及び会員交流会の開催

世界の三大記念艦「三笠」の見学及び会員交流会

当初、海上自衛隊横須賀基地の艦艇見学を予定していたが、自衛隊側の事情から直前に世界三大記念艦である「三笠」に変更し、会員交流会と併せ次の通り開催した。

開催日 令和5年10月13日（金）
見学先 世界の三大記念艦「戦艦三笠」（三笠公園内）
参加者 24名

会員交流会の開催

開催日 令和5年10月13日（金）17時～19時
場 所 横浜中華街「456菜館」別館
参加者 21名

(3) 計量士の技術向上のための研修会の開催

はかりの検査技術向上を図るため、協会職員を対象に次の通り研修会を開催した。

開催日時 令和5年12月21日（金）14時30分～16時30分
場 所 東京都計量検定所
テ ー マ 「指定検査機関制度について」
講師 東京都計量検定所検査課課長代理 吉田 勝様

6. 講演会の開催

(1) (一社)計量器コンサルタント協会等と共催で次のとおり講演会を開催した。

日 時 令和5年6月23日（金）15時30分～16時30分
場 所 計機健保会館
テ ー マ 「ものづくり白書から見る基盤技術振興策について」
講師 経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室

(2) 計量技術講習会の開催

関東甲信越計量団体連絡協議会と共同して次の通り計量技術講習会を開催した。

日 時 令和6年2月16日(金) 13時30分～15時30分
場 所 日本計量会館
聴講者数 92名
テ ー マ 「新しいキログラムの定義とキログラム原器の重要文化財指定」
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 倉本 直樹様
「計量規制の概要及び自動はかり規制の現状」
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 神長 亘様
大谷 怜志様

7. 計量に関する諸問題の調査、研究

- (1) 関東甲信越計量団体連絡協議会、(一社)日本計量振興協会等を通じて業界意見の反映に努力した。
- (2) 指定定期検査機関等連絡会議(東京都計量検定所、東京都計量協会)を通じ指定機関の運営等について年2回の協議を行った。
- (3) 関東甲信越地区計量団体連絡協議会事務局として10都県の計量団体との連携強化を図っている。
- (4) 団体会員である計量器コンサルタント協会の事務局業務を受託し、その活動を支援した。

8. 部会の開催

8-1. 計量管理研究部会

計量管理の推進により、生産性、品質の向上及び量目取引等の適正化を図ることを目的に計量管理研究活動を行ってきているが、今年度では次の事業を実施した。

(1) 部会役員

部会長	山本 浩之	(株)イシダ
副部会長	安齋 正一	(一社)東京都計量協会
理 事	渡邊 正一	(株)オーバル
理 事	吉野 博	(株)新興度量衡製作所
理 事	恵田 豊	(株)高島屋
理 事	和田 俊之	(株)寺岡精工
理 事	市村 玲	(株)東急百貨店
理 事	山崎 慎司	日東富士製粉(株)
理 事	森 哲志	森永乳業(株)
理 事	奥村 和代	(株)三越伊勢丹

監 事 伴 剛至 佐藤製薬㈱
監 事 早川 嘉一 ゾンネボード製薬㈱

(2) 計量管理強調月間「標語」の募集及び入選作品の選定

応募数 6事業所 43点 (事前に応募各社内で選考いただいた)
選定作品 4点 (最優秀賞2点、佳作賞2点)
最優秀賞 「正しい知識で確かな計量 みんなで取り組む計量管理」
森永乳業㈱ 丸山 崇氏
〃 「正しい手順で 正しく量る 持続可能な 計量管理」
日東富士製粉㈱ 西菌 亘祐氏
佳作賞 「小さな目盛で大きな保証 あなたが主役の計量管理」
森永乳業㈱ 小野寺 恵子氏
〃 「私を守り みんなで繋ぐ 正しい計量 確かな品質」
森永乳業㈱ 西岡 芙美子氏

*最優秀2点は短冊にして、全会員へ配布した。

(3) 計量記念日「都民計量のひろば 2023」への参加

本事業は 11 月 1 日の計量記念日を祝い、都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的に開催してきているが、当部会も本事業の実施に積極的に協力し、参加した。

日 時 令和5年11月1日(水) 10時30分から16時
場 所 JR 新宿駅西口広場イベントコーナー
アトラクション 安齋副部長をはじめとする計量士による計量マジックを実施

(4) 適正計量管理主任者養成講習会の開催(生産関係)

日 時 令和5年7月7日(金) 9時30分～16時50分
場 所 東京都計量検定所
受講者数 9事業所 30名
講義内容 ①計量法と適正計量管理事業所制度
②筆記試験
③製造業における計量管理
④質量計(非自動はかり)の使用・検査について
⑤質量計(自動はかり)の使用・検査について
⑥筆記試験の解説及び講評、認定書授与

(5) 東京都計量検定所との意見交換会

日 時 令和6年3月1日(金) 15時～17時
場 所 東京都計量検定所

- テ ー マ
- ・適正計量管理事業所について
 - ・計量制度の見直しについて
 - ・最近の計量行政について

出 席 者 東京都 2 名
部会員 9 名、事務局 2 名

(6) 表彰関係

部会から次の方々を推薦し、表彰された。

表彰式 令和 5 年 11 月 8 日 (水)

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷

感謝状 小林 悌二様 当協会理事・前計量管理研究部会部会長
東京計量士会会長

計量管理強調月間「標語」作品賞

丸山 崇様 森永乳業㈱
西菌 亘祐様 日東富士製粉㈱
小野寺 恵子様 森永乳業㈱
西岡 芙美子様 森永乳業㈱

(7) 部会員の動向

	R5 年 4 月 1 日	R6 年 4 月 1 日
生産関係	16 社	16 社
流通関係	9 社	9 社
計	25 社	25 社

(8) 部会決算 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

収入の部 単位：円

科 目	決算額
前年度繰越金	461,014
都計協助成金	88,200
主任者養成講習会	121,000
その他	4
収入合計	670,218

支出の部		単位：円
科 目		決算額
事業費		61,410
内 訳	講習会等	24,000
	計量記念日事業	37,410
	資料保存費	0
会議費		67,448
事務費		56,356
内 訳	印刷費	49,720
	通信費	6,636
予備費		0
支出合計		185,214
収支差額／次年度繰越金		485,004

8-2. タクシーメーター部会

令和5年度では、正副部会長会議を1回開催し、装置検査の検定等に係る情報交換、今後の活動計画等について検討を行った。

(1) 令和5～6年度の役員

部会長 三浦 敦 (株)ニシベ計器製造所
 副部会長 鈴木 文雄 日本自動車メーター(株)
 副部会長 中島 文博 二葉計器(株)
 幹事 木幡 俊哉 江東矢崎サービス(株)
 幹事 菅野 浩明 (有)山田計器製作所
 監査 江崎 純一朗 (株)岡部メーター商会

(2) 検定数の推移とコロナ禍におけるタクシー業界の動向についての情報交換。

(3) 東京都計量検定所との装置検査に係る情報交換、改正受験票の変更概要についての意見交換。

9. 計量関係功労者の表彰並びに表彰候補者の推薦

令和5年度の本会からの候補者推薦による受賞者は次のとおりである。

経済産業省関係

受賞式 令和5年11月1日(水)

場 所 ホテルインターコンチネンタル東京ベイ

経済産業省 産業技術環境局長表彰 (計量制度運営等貢献者)	竹添 雅雄様	東京計量士会 副会長
-------------------------------------	--------	------------

東京都関係

功労者表彰

令和5年10月2日(月) 東京都庁大会議室	渡部 洋士様	㈱渡部計器製作所 代表取締役社長 (一社)東京都計量協会 理事 日本硝子計量器工業協同組合 副理事長
--------------------------	--------	--

東京都生活文化スポーツ局長感謝状

令和5年11月8日(水) ホテルグランドヒル市ヶ谷	高橋 正樹様 高柳 庸一郎様 三田村 義崇様	(一社)東京都計量協会 メトラー・トレド㈱ 日本計量器工業㈱ 代表取締役 (一社)東京都計量協会 理事 日本硝子計量器工業協同組合 副理事長
------------------------------	------------------------------	--

1.0. 指定定期検査機関及び指定計量証明検査機関業務について

1.0-1. 指定定期検査機関による定期検査(計量法第20条第1項)及び指定計量証明検査
機関による計量証明検査(同法第117条第1項)の実施

(1) 令和5年度受託費

東京都分 169,927,287円(小型、中型、大型はかり合計)

八王子市 12,517,975円(小型、中型はかり合計)

(2) 検査員

担当計量士 永井 洋文 荒川 敬之 高橋 正樹 増山 隆一

岩瀬 広和 木津 貴夫

短期計量教習終了者 峯岸 輝夫 竹内 辰也 齋藤 尚貴

計量職員 千葉 英樹 古橋 幸二 古賀 一彦 上杉 健二

(3) 令和5年度検査実績

令和5年度小型はかり検査報告書

指定定期検査機関
(一社) 東京都計量協会

はかり種別	100kg以下		250kg以下		合計	
	検査数	(倍額)	検査数	(倍額)	検査数	(倍額)
電気抵抗線式	5,497	(12)	2,036	(10)	7,533	(12)
誘電式	1,812	(114)	1		1,813	(114)
電磁式	1,242	(773)	2	(2)	1,244	(775)
他の電気式	1				1	
電気式台数計	8,552	(899)	2,039	(2)	10,591	(901)
手動てんびん	1				1	
等比皿手動	42				42	
棒はかり	8				8	
台手動はかり	217		30		247	
皿手動はかり	183				183	
その他の手動	1				1	
ばね式指示	1,389	(1)	20		1,409	(1)
直線目盛付き	199				199	
手動指示併用	102				102	
その他の指示						
機械式台数計	2,142	(1)	50		2,192	(1)
合計	10,694	(899)	2,089	(2)	12,783	(901)

検査手数料
電気式 16,907,400 円
機械式 1,064,250 円
分銅類 30,240 円
運搬費 430,100 円
合計 18,431,990 円

	検査数	(倍額)
分銅	750	0
定置おもり	7	0
定置増おもり	2,267	0
分銅類計	3,024	0

減免費計	152件	49,600 円
------	------	----------

業 種	検査戸数			
	電気式	機械式	(電/機)	運搬費
01 各種食料品	189	86	(23)	21
02 酒・調味料	13	41	(4)	3
03 食 肉	410	26	(14)	64
04 鮮 魚	160	42	(13)	11
05 野菜・果実	122	117	(21)	6
06 菓子・パン	61	61	(6)	4
07 他の飲食料	700	286	(41)	201
08 金物・荒物		18		5
09 燃 料	4	6		7
10 呉服・寝具	3	13		3
11 鉱物・金属	4	9	(1)	9
12 再生資源	29	2		29
13 スーパー	272	1	(1)	2
14 他の卸小売	37	22	(4)	15
15 食料品製造	82	55	(15)	22
16 他の製造業	23	17	(2)	14
17 貴 金 属	304			2
18 医療・保健	2,788	199	(80)	608
19 福祉施設	907	120	(87)	824
20 運輸・通信	18	15	(3)	10
21 金融業	39	4		
22 官公庁施設	3	6		1
23 学校等	304	114	(47)	258
24 その他	48	51	(10)	12
合 計	6,520	1,311	(372)	2,131

	電気式	機械式
検査戸数	6,520	1,311
免除戸数	235	2
不検査戸数	529	179
廃業、移転	95	52
不使用	136	88
休業中	17	21
修理中	2	
新規購入予定	256	8
代検、適管	8	
その他	15	10
検査台数	10,592	5,216
不合格数	52	1
免除台数	577	9

※分銅類は機械式に含む。

	電気式	機械式
新規戸数	44	11
新規台数	51	20

※検査、免除数の内数

令和5年度中型(はかり)検査報告書

[検査を行った日数及び事業所数]

検査日数	195日
検査対象戸数	738件
検査戸数	671件
免除戸数	13件
不検査戸数	54件

[業種別事業所数]

各種食料品	2	他の卸小売	1
酒・調味料	0	食料品製造	9
食肉	77	他の製造業	16
鮮魚	2	貴金属	2
野菜・果実	0	医療・保健	271
菓子・パン	1	福祉施設	16
他の飲食料	0	運輸・通信	42
金物・荒物	2	宅配便	26
燃料	5	金融業	0
呉服・寝具	0	官公庁施設	5
鉱物・金属	30	学校等	24
再生資源	150	その他	3
スーパー	0	合計	684

ヤマト運輸 4,980

[手数料、検査用具運搬費用、及び費用減免]

検査手数料	9,357,420
運搬費用	507,800
合計	9,865,220
費用減免 戸数	23件
金額	14,700
手数料等総合計	9,879,920

[種類別・ひょう量別検査台数、不合格台数及び不合格率]

	2t以下				1t以下				500kg以下				250kg以下			
	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	
電気抵抗線式	53		1	5		57		1	1		326		1	19	1467	
誘電式はかり	0		0	0		0		0	0		0		0	0	0	
その他の電気	0		0	0		0		0	0		0		0	0	0	
電気式 合計	53 (0)	1	5	57 (0)	1	1	326 (0)	1	19	1,467 (0)	16	78				
台手動はかり	11		0	0		6		0	0		15		0	13	0	
その他の手動	0		0	0		0		0	0		0		0	0	0	
ばね式指示	0		0	0		1		0	0		1		0	0	22	
その他の指示	0		0	0		0		0	0		0		0	0	0	
機械式 合計	11 (0)	0	0	7 (0)	0	0	16 (0)	0	0	35 (0)	0	0				
	合 計															
	100kg以下												総 合 計			
	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	検査数 (H)	不台	免除	検査 台 数			
電気抵抗線式	1,041 (0)	29	51	2,944 (0)	48	154							電気式はかり			
誘電式はかり	210 (96)	1	2	210 (96)	1	2							3,391			
電磁式はかり	237 (211)	1	7	237 (211)	1	7							機械式はかり			
その他の電気	0 (0)	0	0	0 (0)	0	0							6,088			
電気式 合計	1,488 (307)	31	60	3,391 (307)	50	163							分 銅 類			
手動天びん	0		0	0 (0)	0	0							467			
等比皿手動	26		0	26 (0)	0	0							検査台数合計(A)			
棒 は かり	0		0	0 (0)	0	0							9,946			
台手動はかり	4		0	4 (0)	0	0							不 合 格 台 数			
皿手動はかり	4		0	4 (0)	0	0							電気式はかり			
その他の手動	0		0	0 (0)	0	0							50			
ばね式指示	5,897	83	71	5,921 (0)	83	71							機械式はかり			
直 線 目 盛	45		0	45 (0)	0	0							83			
手動指示併用	43		0	43 (0)	0	0							分 銅 類			
その他の指示	0		0	0 (0)	0	0							0			
機械式 合計	6,019 (0)	83	71	6,088 (0)	83	71							不合格台数合計			
													133			
													免 除 台 数			
													電気式はかり			
													163			
													機械式はかり			
													71			
													分 銅 類			
													0			
													免除台数合計(B)			
													234			
													総 合 計			
													(A+B)			
													10,180			
分 銅	185	0	0	185	0	0										
定置おもり	0	0	0	0	0	0										
定置増おもり	282	0	0	282	0	0										
分銅類 合計	467	0	0	467	0	0										

令和5年度大型はかり検査報告書

4. 業種別事業所数

種 類	証明	定期	種 類	証明	定期
各種食料品	0	0	他の卸小売	0	0
酒・調味料	0	0	食料品製造	0	0
食 肉	0	0	他の製造業	2	10
鮮 魚	0	0	貴金属	0	0
野菜・果実	0	0	医療・保健	0	0
菓子・パン	0	0	福祉施設	0	0
他の飲食料	0	0	運輸・通信	0	4
金物・荒物	0	0	宅配便	0	0
燃 料	0	0	金融業	0	0
呉服・寝具	0	0	官公庁施設	0	33
鉱物・金属	25	19	学校等	0	0
再生資源	58	110	その他	2	16
スカーパー	0	0	合 計	87	192

1. 検査を行った日数及び事業所数

	検査日数	検査戸数	免除戸数
計量証明	72	87	2
定期検査	139	192	6
合 計	(172)	279	8

* () は実検査日数

2. 計量器の数

	はかりの検査(免除)台数					
	2tを超える計量器			2t以下の計量器		
	検査台数	不合格数	免除台数	検査台数	不合格数	免除台数
計量証明	91	4	1	0	0	4
定期検査	216	2	9	102	0	2
合 計	307	6	10	102	0	6
	分銅類の検査(免除)台数					
	分 銅			お も り		
	検査台数	不合格数	免除台数	検査台数	不合格数	免除台数
計量証明	0	0	0	0	0	0
定期検査	0	0	0	99	0	0
合 計	0	0	0	99	0	0

総 合 計			
A+B			
検査台数	91	4	1
不合格数	417	2	9
免除台数	508	6	10

3. 手数料、検査用具運搬費用及び費用減免

	検査手数料	検査用具運搬費用	合 計		費用減免額	総 合 計
			戸 数	減 免 額		
計量証明	1,980,600	1,849,600	0	0	0	3,830,200
定期検査	4,126,440	3,134,100	18	403,400	0	7,663,940
合 計	6,107,040	4,983,700	18	403,400	0	11,494,140

令和5年度八王子市定期検査総合集計（小型はかり・中型はかり）

■検査期間（小型）令和5年6月27日～8月17日・（中型）令和5年5月15日～6月8日

八王子市指定定期検査機関
一般社団法人 東京都計量協会

■検査等戸数集計表

訪問戸数内訳	小型班	中型班	合 計
検査実施	552	91	643
検査廃業	24	0	24
検査免除のみ	13	2	15
その他	4	0	4
合 計	593	-	686

■手数料集計表

区 分		手数料	徴収済額	未納額
検査手数料	小型	1,203,620	1203620	0
	中型	535,950	535,950	0
運搬手数料	—	69,900	69,900	0
定期検査手数料合計		1,809,470	1,809,470	0
証明手数料		0	0	0
合 計		1,809,470	1,809,470	0

■検査器種別集計表

区 分	小型班検査分			中型班検査分			合 計		
	検査 個数	不合格 個数	不合格率	検査 個数	不合格 個数	不合格率	検査 個数	不合格 個数	不合格率
電気式はかり	844	1	0.12%	299	1	0.33%	1,143	2	0.17%
機械式はかり									
手動てんびん	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
等比皿手動はかり	0	0	0.00%	3	0	0.00%	3	0	0.00%
棒はかり	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
その他の手動式はかり	0	0	0.00%	13	0	0.00%	13	0	0.00%
ばね式はかり	273	2	0.73%	128	3	2.34%	401	5	1.25%
手動指示併用はかり	0	0	0.00%	6	0	0.00%	6	0	0.00%
その他の指示はかり	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
はかりの合計	1,117	3	0.27%	449	4	0.89%	1,566	7	0.45%
分銅	182	0	0.00%	44	0	0.00%	226	0	0.00%
定量おもり	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
定量増おもり	0	0	0.00%	61	0	0.00%	61	0	0.00%
分銅類の合計	182	0	0.00%	105	0	0.00%	287	0	0.00%
総合計	1,299	3	0.23%	554	4	0.72%	1,853	7	0.38%

10-2. 定期検査に代わる計量士による検査等（計量法第25条及び第120条）、計量管理業務（同法第127条）並びに計量器検定申請事務の代行の実施

計量士による代検査、適正計量管理事業所の自主検査支援などの計量管理業務の受託事務等を遂行した。また、日本郵政グループ各社の計量管理業務を（一社）日本計量振興協会を通じて受託し検査を行った。さらに、新規事業者への自主検査支援などのPR活動を進めた。

計量管理受託業務の実施

社会のあらゆる分野における適正計量の実施を目指し、かつユーザーの利便を図るため計量士による代行検査、自主検査、及びISO 9000認定工場の精度検査等を次のとおり実施した。

（1）量目検査及び計量管理

スーパー等流通事業におけるはかりの設置状態、零点の調整、計量方法等について適切な指導を行うとともに、適正計量管理事業所及びそれに準じた事業所には量目検査を含む計量管理を実施した。

受託金額 52,973,826 円

検査員	担当計量士	大濱 友章	坂井 秀人	清水 健富
	計量職員	永尾 風	佐藤 享	筒井 翔
		須崎 治		

（2）日本郵便（株）、日本郵政（株）計量管理業務の受託実績

東京支社管内の郵便局（普通局、特定局等）の窓口用はかり、証紙発行器用はかり、集荷用はかり、検査用分銅の検査、及び日本郵政（株）の管理下にある健康管理センター、病院等の計量管理指導等を一括受託し実施した。

受託金額 11,060,000 円

郵政受託事業に協力した計量士の数
協会職員（計量士）
延べ3人

令和5年度計量器検査の実績（代検査等）

法定検査	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	12,708	3,887	75	13	7	29	8,345	0	0	0	235	117
合格台数	12,602	3,861	75	13	7	29	8,265	0	0	0	235	117
不適台数	106	26	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0
不適台率	0.83%	0.67%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.96%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

適正計量管理事業所	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	356	356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合格台数	350	350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適台数	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適台率	1.69%	1.69%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

計量証明検査	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合格台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適台率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

自主検査	総台数	ばね式指示はかり	手動指示併用はかり	等比皿手動はかり	台手動はかり	皿手動はかり	電気式はかり	手動天びん	直示天びん	他の機械式はかり	分銅	おもり
検査台数	7,924	408	0	2	1	29	4,177	0	0	0	0	39
適正台数	7,738	390	0	2	1	29	4,114	0	0	0	0	39
不適正台数	186	18	0	0	0	0	63	0	0	0	0	0
不適正率	2.35%	4.41%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.51%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

	ヘルス メーター	キッチン スケール	ベビー スケール	レター スケール
検査台数	1,658	1,437	151	22
適正台数	1,615	1,376	150	22
不適正台数	43	61	1	0
不適正率	2.59%	4.24%	0.66%	0.00%

計量管理業務を実施した
計量士
計量担当職員
大瀧友章、坂井秀人、清水健富
永尾 風、佐藤 享、筒井 翔、須崎 治

令和5年度日本郵便(株) 計量管理業務 (総括表)

1. 検査年月日 2023年4月12日 ~ 2024年2月26日

2. 計量士 坂井秀人 ほか 2名

3. 計量法第19条第2項による検査成績

(1) 検査実施数 740 事業所 うち不適合数 18 事業所

(2) 検査成績(窓口用はかり)

(単位: 個)

計量器の種類	合格	不適合(理由別)		計
		器差	構造	
電気抵抗線式	1,560	0	0	1,560
誘電式	0	0	0	0
ばね式	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	1,560	0	0	1,560

(3) 検査成績(集荷用はかり)

(単位: 個)

計量器の種類	合格	不適合(理由別)		計
		器差	構造	
電気抵抗線式	1,532	6	27	1,565
誘電式	0	0	0	0
ばね式	10	0	0	10
合計	1,542	6	27	1,575

4. 自主検査用分銅の校正成績

(1) 校正実施数 728 事業所 簡易局SMG 名

(2) 校正成績

(単位: 個)

種類	校正結果		計	不適合品の措置内訳	
	適合	不適合		調整後適合	廃棄
7.5kg	2,437	15	2,452	15	0
その他個別分銅	343	38	381	38	0
合計	2,780	53	2,833	53	0

(3) 校正方法 1: 現地校正 2: 集合方式

2. の場合の主な校正場所

5. 計量管理指導

(1) 実施した事業所及び簡易局SMGの合計

訪問事業所数(A)	簡易局SMG数(B)	うち指導対象外の数(C)	指導数(D) = (A) + (B) - (C)
733	0	5	728

(2) チェック項目のまとめ(事業所数)

項目	適切	改善指導	合計
① 主任の任命・引継ぎ等の状況	728	0	728
② 自主検査の実施状況	727	1	728
③ 自主検査成績表の記載・保管	725	3	728
④ はかりの設置・水平・零点	728	0	728
⑤ 自主検査用分銅の保管状況	728	0	728
⑥ その他			0

(3) 主な指導事項

自主検査メッセージが設定されているかの確認を徹底した。

(3) 東京都手数料等徴収事務の受託

計量法関係手数料等の収受が現金徴収となり、それに伴う表記事務を東京都計量検定所から受託し、都民、会員の利便性向上を図るとともに、東京都の収入確保に令和5年度も協力した。

受託金額 4,973,100 円

令和5年度手数料徴収事務実績

単位：円

	令和4年度		令和5年度	
	件数	手数料額	件数	手数料額
計量法関係手数料	9,131	90,012,230	9,338	89,581,820
受託検査関係手数料	68	1,445,416	76	2,177,026
東京都事務手数料	637	254,800	734	293,600
合 計	9,836	91,712,446	10,148	92,052,446

(4) タクシーメーター装置検査場における検査補助業務受託

東京都から東京都計量検定所港南検査場、深川検査場におけるタクシーメーター装置検査業務の補助業務を受託している。

タクシーに設置されているタクシーメーターは毎年装置検査を受検する必要があるため、港南、深川両検査場で年間 45,000 台前後の検査を行っている。

検査申請書類のチェック、タイヤ圧の事前チェック調整、誘導、検査用基準器の運転、検査装置の操作、データ取りなどの業務について検査補助業務を実施している。

受託金額 55,996,098 円

1 1. 関東甲信越計量団体連絡協議会について

関東甲信越計量団体連絡協議会（以下、関ブロという）は、各都県が抱える計量に関する諸問題について情報交換、研究協議を行い、課題解決に努めるとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に活動を行っている。

都計協は小川会長が関ブロの会長に就任し、また、事務局業務を引き受けるなど、当事業活動に積極的に参加している。

令和5年度の活動は次のとおりである。

(1) 会員及び代表者（令和6年3月31日現在）

（敬称略）

会員名	代表者名
一般社団法人 茨城県計量協会	会 長 佐藤 正 副会長・計量士部会長 小林 一雅
栃木県計量協会	会 長 崎尾 肇 計量士部会長 亀山 崇
一般社団法人 群馬県計量協会	会 長 横田 貞一 計量士部会長 笹尾 利昭
一般社団法人 埼玉県計量協会	会 長 金井 一榮 副会長・計量士部会長 恵田 豊

一般社団法人 千葉県計量協会	会 長 瀬口 力也 計量士部会長 鶴岡 賢一
一般社団法人 東京都計量協会	会 長 小川 弘 副会長 横山 守二
東京計量士会	会 長 小林 悌二 事務局長 檜林 功
公益社団法人 神奈川県計量協会	会 長 谷本 淳 専務理事 山口 泰彦
神奈川県計量士会	会 長 児玉 充弘 副会長 小林 勇
一般社団法人 新潟県計量協会	会 長 大平 岳男 副会長・計量士部会長 五十嵐 一人
一般社団法人 山梨県計量協会	会 長 川島 英一 専務理事 清水 康人
一般社団法人 山梨県計量士会	会 長 清水 健次 専務理事 清水 康人
長野県計量協会	会 長 長坂 宏 計量士部会長 新貝 和雄

(2) 役員

会 長 小川 弘 一般社団法人 東京都計量協会会長
副会長 長坂 宏 長野県計量協会会長
監 事 金井 一榮 一般社団法人 埼玉県計量協会会長
監 事 瀬口 力也 一般社団法人 千葉県計量協会会長
運営委員会委員長 金井 一榮
関ブロ事務局 一般社団法人 東京都計量協会

(3) 長野大会の開催

長野県を当番に、令和5年10月26日～27日の二日間「ホテルメトロポリタン長野」で大会を開催した。

開催日時 令和5年10月26日(木) 13時30分～20時

場 所 ホテルメトロポリタン長野(長野市)

参 加 者 148名(来賓含む)

協 議 会 開会

主催者挨拶 関ブロ協議会会長 小川 弘

開催県あいさつ 長坂 宏

来賓祝辞 経済産業省計量行政室長 仁科 孝幸様

産業技術総合研究所計量標準普及センター長 竹歳 尚之様

長野県産業労働部次長 滝沢 裕之様

来賓紹介

議事 1. 会務・会計報告及び監査報告

2. 提案議題審議

(1) 提案議題1.「新たなメディアを活用した小学生向け計量
計測の普及啓発活動について」

提案趣旨説明（長野県）

各県状況報告

東京計量士会、神奈川県計量協会、長野県計量協会

産業技術総合研究所 新潟県計量協会

提案議題の取りまとめ

(2) 提案議題2.「トラックスケールの器差検査等に使用する
基準分銅等と「仮分銅」について」

提案趣旨説明（長野県）

(3) 講評（計量行政室長）

(4) 運営委員会中間報告

(5) 次回開催県挨拶

感謝状及び記念品贈呈式（16時～16時15分）

受賞者	鈴木 正美様	一般社団法人 茨城県計量協会
	矢島 廣一様	一般社団法人 埼玉県計量協会
	近藤 正孝様	一般社団法人 東京都計量協会
	都築 千秋様	公益社団法人 神奈川県計量協会
	関 博英様	長野県計量協会

記念講演会（16時30分～17時30分）

演 題 葛飾北斎の生涯 ～信州小布施の名品～

講 師 葛飾北斎専門美術館「北斎館」学芸員 櫻井 貴基氏

懇親会（18時～20時）

研修見学会（27日） 善光寺・仲見世通り、小布施町・岩松院・北斎館

都県別出席状況

団体名	出席者
茨城県計量協会	13
栃木県計量協会	1
群馬県計量協会	7
埼玉県計量協会	12
千葉県計量協会	13
東京都計量協会	16
東京計量士会	8
神奈川県計量協会	6
神奈川県計量士会	6
新潟県計量協会	13
山梨県計量協会	2
山梨県計量士会	0
長野県計量協会	30
計	129

来賓出席者数	19
--------	----

(4) 講習会の開催

日 時 2月16日(金) 13時30分～15時30分

場 所 日本計量会館

聴講数 92名(対面40名、オンライン52名)

テーマ・講師

①「新しいキログラムの定義とキログラム原器の重要文化財指定」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所計量標準総合センター 倉本 直樹氏

②「計量器規制の概要及び自動はかりの規制の現状」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所計量標準総合センター

法定計量管理室 神長 亘氏

大谷 怜志氏

(5) 事務担当者会議の開催

日 時 令和6年3月5日(火)～6日(水)

場 所 古名屋ホテル(山梨県甲府市)

出席者 26名

次 第 全体会議

1. 開催県あいさつ 川島 英一 山梨県計量協会会長

2. 来賓あいさつ 中村 一也様 山梨県計量検定所所長

宮沢 敬治様 日本計量振興協会専務理事

検討テーマ

- ・事務担当者会議の枠組みと関プロとの係りについて
- ・協会所属計量士(職員)の待遇について
- ・定期昇給及びベースアップへの対応について
- ・協会所有の車がある場合の取り扱いルールについて
- ・インボイス制度施行後の会計処理方法
- ・法人公告について～事務所掲示から電子公告への切替手続き～

12. その他、協会の目的を達成するために必要な事項、

事務所並びに事務局の状況

① 事務所 東京都江東区新砂三丁目3番41号 東京都計量検定所庁舎2階

面積 39.6平方メートル

② 事務局役職員 40名

③ 役職員名

堀井 茂	伊藤 信男	飯田 麻里子	高木 美穂	高城 実可
永井 洋文	荒川 敬之	岩瀬 広和	大濱 友章	清水 健富
高橋 正樹	千葉 英樹	峯岸 輝夫	竹内 辰也	古橋 幸二

齋藤	尚貴	古賀	一彦	増山	隆一	坂井	秀人	永尾	風
佐藤	享	上杉	健二	須崎	治	木津	貴夫	筒井	翔
安齋	正一	本郷	隆治						
山下	規夫	磯	正彦	照井	誠	五味	智紀	長沼	正信
飯出	昭典	尾崎	信之	佐々木	正則	寺田	由幸	千葉	勉
立花	昭博	川崎	静男	下地	啓介				